

私の原点

私を変えた先生との出会いは、小学6年の時です。それまでは平凡で、ありふれた学校生活を送っていましたが、その先生と過ごした一年は一生忘れることはありません。

クラスの担任になったその先生のモットーは「泥をかぶれ」というものでした。これは、「たとえ嫌なことでも、人のため自分のために率先してやりなさい。」という意味で、この言葉をクラスで掲げ、一年を過ごしました。

はじめは、自分を含め、なかなか行動に移すことの出来ない人が多くいましたが、気がつけば、だれ一人として消極的な者はおらず、発表やボランティアなどを進んで行っていました。朝、登校すれば、花壇の草取りをしたり、正門を掃いたり、何かすることはないか探していました。そのため、朝の教室にはだれもいないというのが当たり前でした。

また、授業では私語や居眠りは一切なく、全員が集中して取り組み、発表に関しては全員が手を挙げるため、我先にと挙手のスピードを競うほどでした。あの時の私は希望に満ちあふれ、その目は常に輝いていました。

クラスでも自然と『積極的』『視野を広く』『有言実行』といった声が飛び交うようになり、今思えば、こんなにも毎日が楽しく、積極的に行動できていたんだと、過去の自分を羨ましく思います。そして何より、ここまでクラスが変わったのは、先生の心からの熱い気持ちが、言葉一つ一つに表れていたため、それに応えようと一生懸命になれたからです。

その先生とは、クラス全員が絶対的な信頼関係にありました。勉学の面はもとより、人間として大きく育ててもらいました。今の私の原点はここにあります。先生は一人一人と向き合い、人として立派な大人になるルールを敷いてくださっただけでなく、人間の本質そのものを教えてくださいました。私は今、その道を真っ直ぐに進んでいます。

吉村 光正
(高校生)